



化学製品の開発や製造を通して 人びとの暮らしを支えています。

株式会社三宝化学研究所 和歌山工場

所在地／和歌山市小雑賀3-4-63 TEL.073-425-2271 <https://www.sanbo-chem.co.jp/>
設立／1952年(昭和27年) 従業員数／39名(2025年9月現在)



しよくばけんがくかのう
職場見学可能です

私たちの仕事

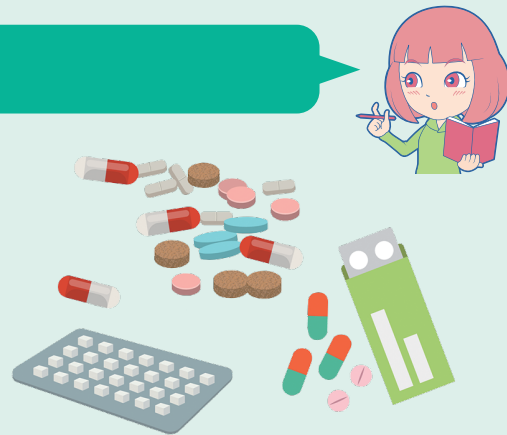
理科の実験で使うビーカーやフラスコを大きくした「反応器」という装置を使って化学反応をおこない、化学薬品をつくっています。私たちがつくった化学薬品は、病院で処方されるお薬になる医薬品原料、半導体をつくるための材料、テレビやスマホの画面を構成する部品になるものです。そんな化学のちからで世の中をちょっと豊かにするお手伝いをしています。



▲和歌山工場

? 医薬品原料ってどんなもの?

病院で処方される錠剤、カプセルなどに含まれる有効成分となるものです。例えば、がんを治療するための薬には抗がん作用のある医薬品原料が有効成分として含まれています。



? 半導体ってどんなもの?

よく電気を通す「導体」と電気を通さない「絶縁体」の中間の性質をもつ物質です。これを使ってつくる電子部品やそれらを集めてつくる集積回路も半導体と呼ばれています。スマートフォン、ゲーム機、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、自動車など現代の生活を支える電子機器に欠かせない部品として使われる材料です。



働く人がどんな仕事をしているのか見てみよう!



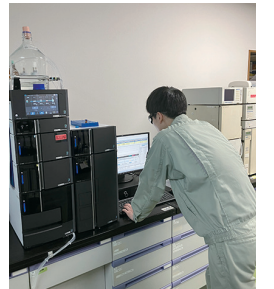
技術

反応条件などを改良してより安全で良い品質の製品ができるようにします。



品質管理

さまざまな分析装置で、使用する原料や製造途中、出荷前の製品の検査をします。



製造

工場で安全に機械装置の運転や操作をして、さまざまな製品をつくり出します。



物流

必要な原料を調達したり、できあがった製品をお客さまに届けたりします。



働きやすい職場を目指しています

性別に関係なく活躍できる職場づくりのために、出産や育児で仕事を休んだ後も、職場にもどって能力が発揮できるしくみが整っています。ワークライフバランスを大切に、みなで力を合わせて働いています。

働く人の声



和歌山工場 製造課
浅川 直育さん



和歌山工場 製造課
榎本 顕さん

身体を治す薬のもとを作っています

患者さんが飲む「薬のもと」をつくっています。仕事仲間のだれがつくっても同じ薬ができるようなレシピにすることを大切にしています。同じ品質の製品がつくれたときにやりがいを感じます。

人びとの豊かな暮らしを支えています

大きな機械設備を使い、安全第一で化学薬品をつくっています。小さい頃から身体を動かすことが好きだったので楽しく働いています。見えないうちで暮らしを支える大切なお仕事です。